

学校関係者評価の結果(令和8年1月29日実施)

新居浜市立角野中学校

角野校区学校運営協議会において、保護者の評価、生徒アンケート、教職員の評価とそれらの考察について説明を行い、委員から以下のような意見を得た。

- 全体的に、肯定的な意見が多く、良かった。生徒の意見に「授業がわかりやすい」というものがあり、先生方の努力や工夫が見受けられる。生徒との信頼関係が築けていると感じた。
- 質問5については、ICT を活用した授業が、保護者には見えていないのではないかと感じた。ICT を活用するため先生が事前に準備しているが、その負担は大きいと思う。そのような ICT を活用した授業を受けて、生徒も「分かりやすい」と捉えている。保護者への伝え方次第で、理解を得られると思う。
- 昨年度と比較して、保護者の学校への意見に、否定的なものが増えているのが気になる。教職員がより保護者に歩み寄ったり、コミュニケーションを取ったりしてつながっていくことで、誤解を解くことができるのではないだろうか。
- 質問17については、一緒に活動している立場からすると、残念である。活動中の生徒の生き生きした姿を保護者にもっと知ってもらいたい。具体的にそして正確に内容を伝えてほしい。
- アンケートを実施すると、一定数マイナス意見が出てくるのは仕方がないが、質問17について、先生の中にマイナスの意見があることが気になる。地域の活動について、知らないことが理由かも知れない。あるいは負担に思っているのかもしれないが、生徒にとってプラスの活動であることを、実際に参加した先生が発信していくのが良いと思う。
- 地域の活動が生徒の居場所になっていることは、まさに角野校区の強みだと思う。今後も地域と学校、公民館の連携を進めてほしい。高校とのつながりも、今後も進めてほしい。

学校運営協議会の委員の方から、客観的に判断したご意見や、温かいご意見をいただいた。保護者からの厳しい評価については、学校教育へ関心を持ってくださったことに感謝し、全教職員で真摯に受け止め、改善を目指している。今回の貴重な意見を生かし、児童・生徒の健やかな成長のための教育を、今後も実践していきたい。